



2003年11月期 中間決算説明会

2003年 7月15日

NACHI 株式会社 不二越

目 次

第1部 連結決算の概要

1. 中間連結決算の概要
2. 通期計画

第2部 経営のとり組み

1. 中間連結決算の概要

(単位:億円)

	2002年度 上期(A)	2002年度 下期	2003年度 上期(B)	対前年同期 (%) (B)-(A)
売上高	664	675	723	(+8.9%) +59
営業利益	(1.6%) 10	(4.1%) 28	(4.8%) 34	(3.3倍) +24
経常利益	(0.5%) 3	(2.7%) 18	(4.0%) 29	(9.7倍) +26
特別利益	3	3	0	△3
特別損失	6	4	15	+9
当期純利益	△1	9	2	+3

事業セグメント別 売上・営業利益

(単位:億円)

		2002年度 上期(A)	2002年度 下期	2003年度 上期(B)	対前年同期 (%) (B)-(A)
機 械 工 具 部	売 上 高				
	工 具	124	118	126	(+1.2%) +1
	工 作 機 械	64	46	66	(+2.6%) +2
	ロ ボ ッ ト	69	75	78	(+13.5%) +9
	計	258	240	271	(+4.8%) +12
	営 業 利 益	3	5	10	(3.2倍) +7
品	売 上 高				
	ベ ア リ ン グ	228	237	250	(+9.5%) +22
	油 圧 機 器	104	112	115	(+10.0%) +10
	計	333	349	365	(+9.7%) +32
	営 業 利 益	9	23	24	(2.8倍) +16
材	売 上 高				
	特 殊 鋼	46	54	57	(+22.5%) +10
	そ の 他	26	31	30	(+16.0%) +4
	計	72	86	87	(+20.1%) +15
	営 業 利 益	△1	0	0	(-) +2
売 上 高 合 計		664	675	723	(+8.9%) +59
営 業 利 益 合 計		10	28	34	(3.3倍) +24

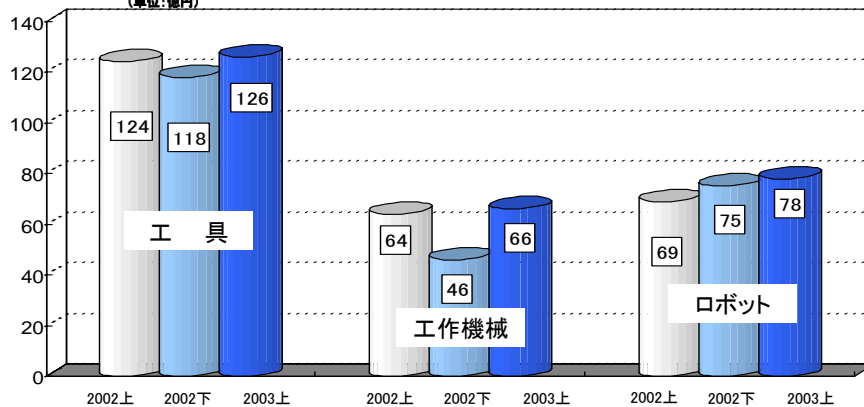
業種別・地域別 売上高

(単位:億円)

		2002上期 (A)	2002下期	2003上期 (B)	対 前年同期 (%) (B)-(A)	
国 内	輸送機械	269	270	278	(+3.5%)	+9
	産業機械	107	103	110	(+2.3%)	+3
	電気・精密	10	24	23	(2.1倍)	+12
	市販その他	72	79	80	(+11.1%)	+8
	(国内計)	461	477	493	(+6.9%)	+32
海 外	米州	105	88	105	(-)	0
	欧州	31	30	31	(Δ2.3%)	0
	アジア	66	79	94	(+42.2%)	+28
	(海外計)	202	197	230	(+13.5%)	+27
合 計		664	675	723	(+8.9%)	+59

主要事業の売上高 (機械工具)

(単位:億円)



<工具>

- ・自動車向けのフローチ、歯切工具、精密金型が堅調
- ・低迷していた市販向けラウンドツールも回復

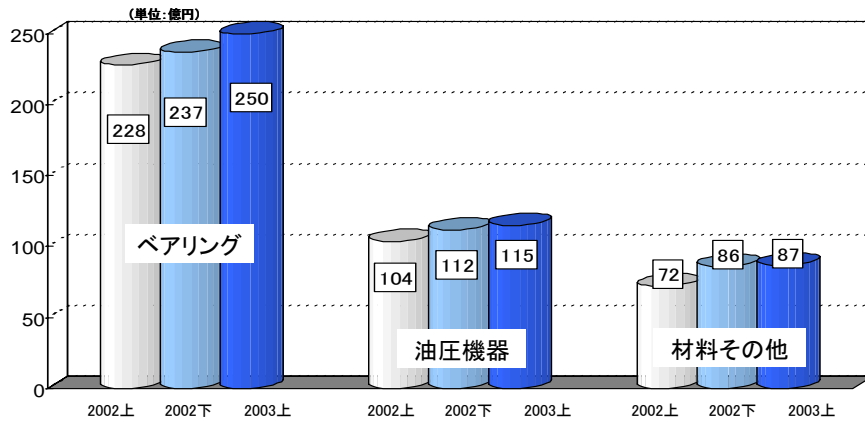
<工作機械>

- ・自動車エンジン加工用の専用機、マイクロフィニッシャが拡大
- ・光学部品用超精密加工機が伸長

<ロボット>

- ・北米事業が好調
- ・ロボット本体に加え、システム、サービス事業が拡大

主要事業の売上高 (部品・材料)



<ベアリング>

- ・自動車用高性能ベアリングが世界三極で拡大 (カーエアコン用、CVJ用など)
- ・一般機械、市販向けも回復

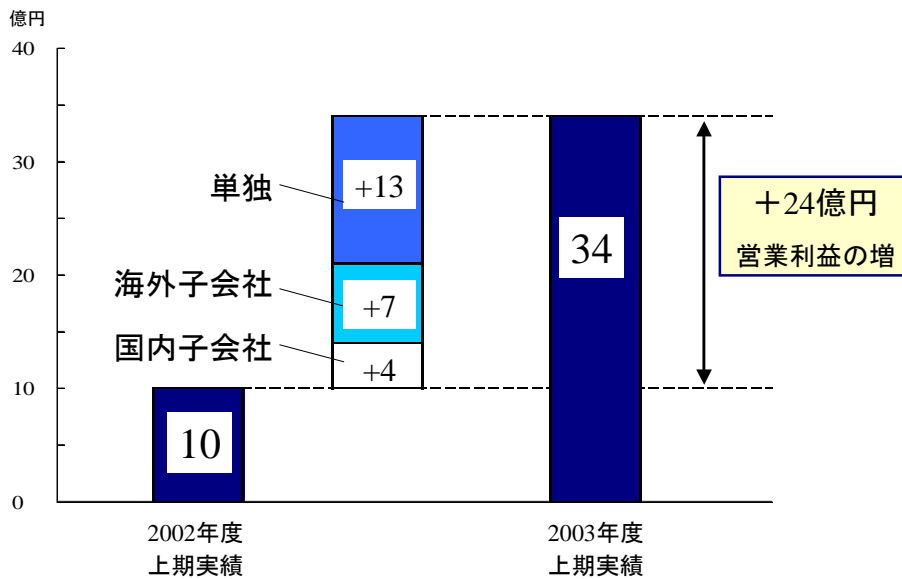
<油圧機器>

- ・中国、韓国の建設機械向けが拡大
- ・アメリカは産業機械用が伸長
- ・カーコントロールバルブは、自動車メーカーの増産要求に対応

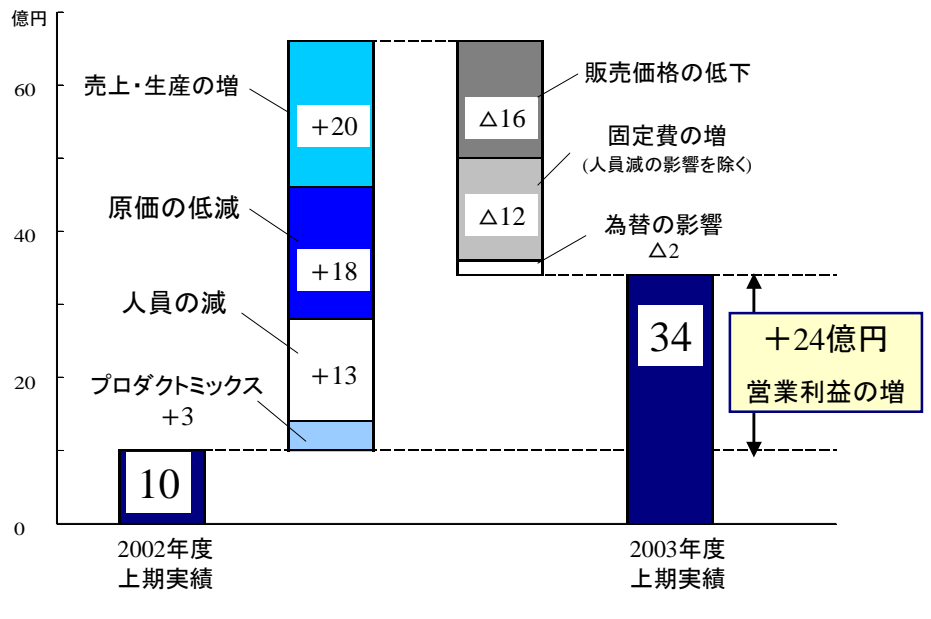
<材料その他>

- ・主力のハイス、工業炉が回復
- ・BSE対応環境装置は引き続き需要が拡大

営業利益の増減要因 ①



営業利益の増減要因②



キャッシュ・フロー

	(単位: 億円)	
	2002年度 上期実績	2003年度 上期実績
税引前当期純利益	0	14
(+) 非資金項目等	29	47
自己資金計	29	61
(+) 運転資本増減	△5	22
(△) 税支出等	△10	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー (a)	13	72
投資活動によるキャッシュ・フロー (b)	△36	△13
フリー キャッシュ・フロー (a+b)	△23	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13	△55
現預金の増減	△36	4

人 員

(単位:人)

	02/5 末 (A)	02/11 末	03/5 末 (B)	増 減 (B) - (A)
人 員 計	5,861	5,649	5,481	△380
日 本	4,796	4,583	4,445	△351
(うち単 独)	(3,024)	(2,871)	(2,708)	(△316)
海 外	1,065	1,066	1,036	△29
(うち米 州)	(640)	(611)	(585)	(△55)
(欧 州)	(204)	(194)	(187)	(△17)
(アジア)	(221)	(261)	(264)	(+43)

3. 2003年11月期 計画 ①

(単位:億円)

	2002年度 実 績(A)	2003年度計画			前年比 (%) (B) - (A)
		上期実績	下 期	通期(B)	
売上高	1,339	723	702	1,425	(+6.4%) +85
営業利益	(2.9%) 38	(4.8%) 34	(4.6%) 32	(4.7%) 67	(+74%) +28
経常利益	(1.6%) 21	(4.0%) 29	(3.7%) 26	(3.9%) 55	(2.6倍) +34
特別利益	6	0	0	1	△6
特別損失	10	15	3	18	+7
当期純利益	7	2	13	15	+7

2003年11月期 計画②

(単位:億円)

				2002年度 実績	2003年度 計画
R	O	A	%	2.6	4.8
R	O	E	%	2.9	5.8
有利子負債				693	630
D / E レシオ				2.6	2.4
海外事業比率				32	36
人 員 人				5,649	5,400

事業セグメント別 売上・営業利益計画

(単位:億円)

		2002年度 実績(A)	2003年度 計画(B)	対 前年同期 (%) (B)-(A)
機 械 工 具 部	売 工 具	243	246	(+1.0%) +2
	上 工 作 機 械	111	129	(+16.0%) +18
	高 ロ ボ ッ ト	144	155	(+7.6%) +11
	計	498	531	(+6.4%) +32
営業利益		(1.7%) 8	17	(2.1倍) +9
品	売 ベ ア リ ン グ	465	498	(+7.0%) +33
	上 油 圧 機 器	216	228	(+5.2%) +11
	高 計	682	726	(+6.4%) +44
	営業利益	(4.8%) 32	47	(+65.3%) +15
材	売 特 殊 鋼	100	110	(+9.0%) +9
	上 そ の 他	57	58	(+0.3%) 0
	高 計	158	168	(+5.8%) +10
	営業利益	(△1.1%) △1	2	(-) +3
売上高合計		1,339	1,425	(+6.4%) +85
営業利益合計		(2.9%) 38	67	(+74.3%) +29

第2部 2003年度の経営のとり組み

○事業構造の改革

1. 商品の選別と統合

競争優位商品、基盤商品を強化

2. 企業間提携の推進

GPA、住友電工

3. 海外事業の拡大

海外生産拠点の拡充

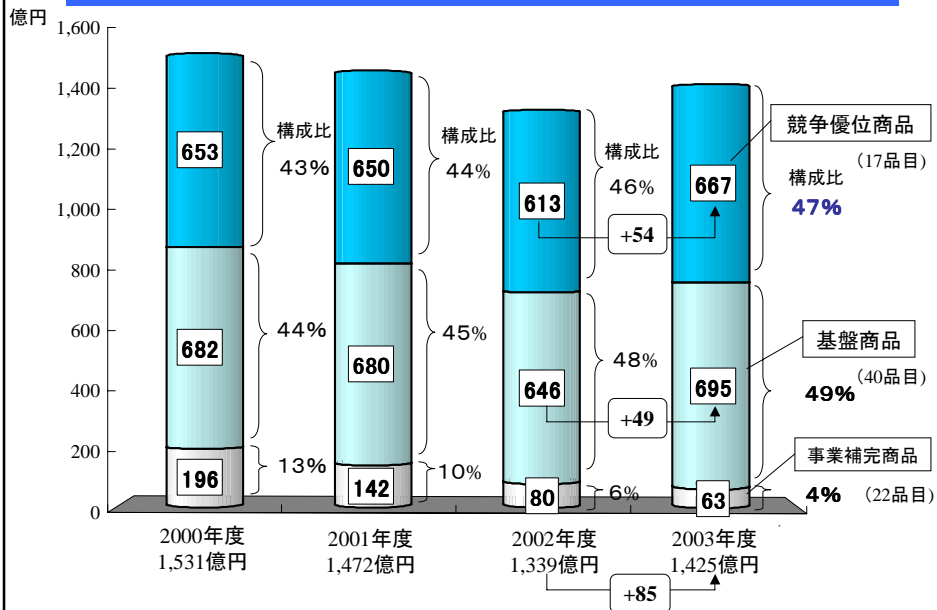
4. 開発体制の強化

新商品の市場投入

5. NACHI-COMPLEX

プレゼンテーション・デモンストレーション施設の拡充

1. 商品戦略 / 商品戦略区分別売上高



主な競争優位商品の動向

1. 超精密加工機

- 非球面加工機（前期比 2倍）
 - ・カメラ付き携帯電話、DVDピックアップ用など小型レンズの需要拡大
- スライサ（同+75%）
 - ・磁気ヘッド加工用スライサが伸長

2. 可変ピストンポンプ（同+26%）

- ・建設機械用：中国、韓国で需要拡大
- ・産業機械用：アメリカで新規開拓

3. 自動車用高機能ベアリング

- 等速ジョイント用ローラーベアリング（同+20%）
 - ・世界三極で需要拡大
- カーエアコン用ベアリング（同+13%）
 - ・アメリカ、ヨーロッパ、ブラジル、日本で増産対応

4. カーコントロールバルブ（同+7%）

2. 企業間提携の推進 / 生産、開発、販売の各面を強化

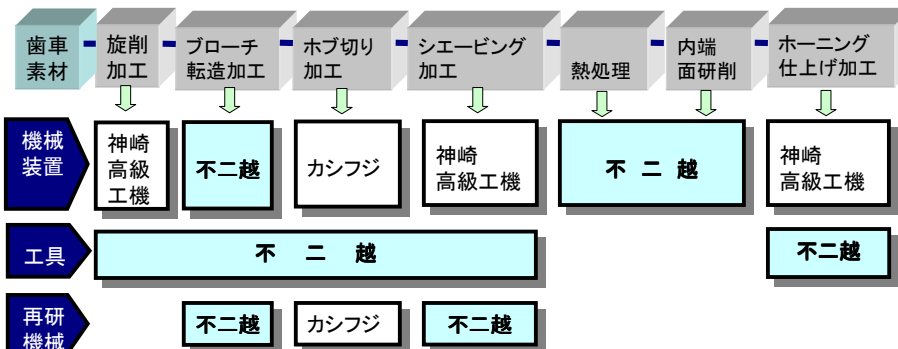
GPA

カシフジ・神崎高級工機製作所・不二越の3社で

Gear Production Alliance(GPA)をスタート(2002年9月)

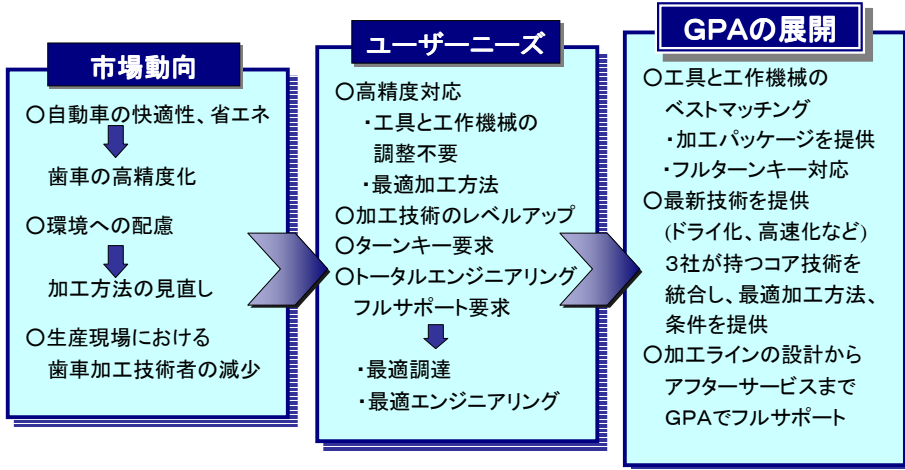
3社が持つ、工具・工作機械・熱処理技術を統合し、
歯車加工ラインをフルサポートする。

・2003年3月、(株)GPAエンジニアリングを設立
歯車加工に関するエンジニアリング、各種サービスを強化



GPAのつよみ

各加工工程における強者連合によって、ユーザーの最適調達、最適エンジニアリングのニーズに応える、新しいビジネスモデル



TES

住友電気工業／住友電工ハードメタルとの協業

・ツール・エンジニアリング・サービス

(Tool Engineering Service: TES)の協同展開

両社の専門チームによる加工ライン分析・診断

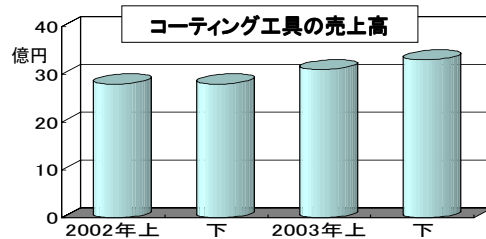
最適加工方法、工具の提案

→総合的な加工コストの低減、生産性向上をサポート



GSKミル
(共通ブランドの世界標準エンドミル)

- ・ハイスから超硬、ダイヤモンド・CBN工具まで、フルレンジの品揃え
- ・両社のネットワークによるプレゼン、サービスを拡充
流通店網の交流、デモ・研修センターの相互活用
見本市への協同出展
- ・協同ブランド、協同開発商品の拡充
↓
- ・コーティング工具の売上拡大(02上期比14%増)



3. 海外事業の拡大 / 競争優位商品の世界供給体制拡充

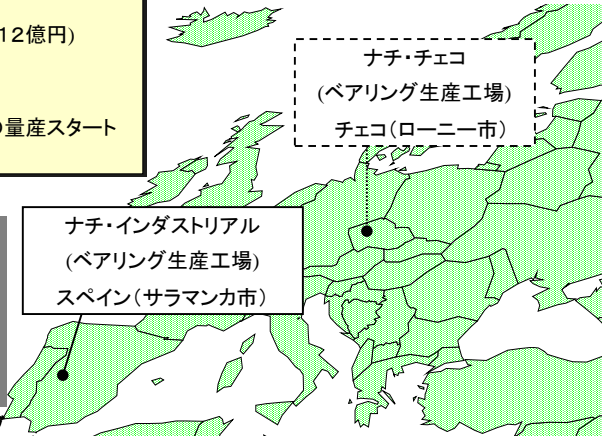
自動車用高性能ベアリングの供給体制を世界三極で強化

- カーエアコン用、等速ジョイント用ローラーベアリング
- ・チェコに生産拠点を新設 → 欧州の供給能力を拡大

ナチ・チェコ
 2003年 10月設立(資本金12億円)
 2004年 7月建屋完成
 2005年 カーエアコン用、
 等速ジョイント用の量産スタート
 2006年 売上目標15億円

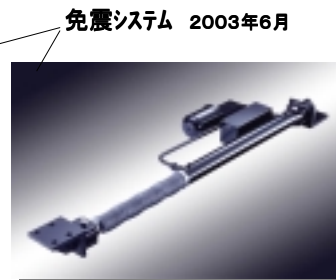
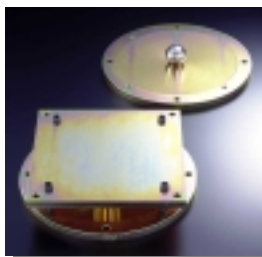


等速ジョイント用ローラーベアリング



4. 開発体制の強化

- 新商品の市場投入(月1件新商品を市場投入)



5. NACHI-COMPLEX / ナチビジネスの複合中核施設

NACHI-COMPLEX

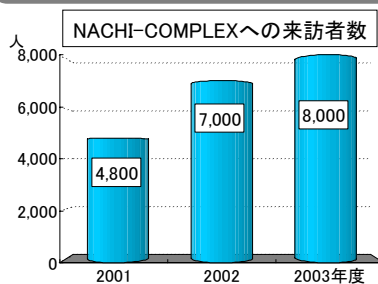
NACHI-BUSINESS Galaxy

- ・NACHI Current (ショールーム)
 - ・Machinery Stage
 - ・Tribology Stage
 - ・Robot Stage
 - ・Hydraulic Stage
- } 各事業の
デモンストレーション
スペース
- ・QA Lab (各種実験、計測施設)
 - ・プレゼンテーションルーム

開発オフィス

- ・開発本部
- ・不二越情報システム
- ・各研修室 (eラーニング室ほか)

- ・Kohki Hall (多目的ホール)



NACHI

<http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

本資料には、将来の業績見通し、事業計画等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提にもとづいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。